



Government
of Canada
Trade Commissioner
Service

Gouvernement
du Canada
Service des
délégés commerciaux

Canada



Canadian Technology Accelerator (CTA)

Japan Aging Tech
Program Dealbook

2024 FALL

Living Best™
AGEING WITH TECHNOLOGY

 **cartergroup**
Japan Market Resource Network



目次

プログラム紹介

03

AWL-Electricity

世界最高水準のワイヤレス給電

06

Axtion Independence Mobility

自立した移動を可能にする次世代型4-in-1デバイス

09

Kinetisense

人間の動きを正確に分析する世界最高水準のモーションキャプチャー

12

LUCID

AIを活用した高齢者向けデジタル音楽治療プラットフォーム

15

NuraLogix Corporation

遠隔で健康状態をモニタリングできるAIビデオ・ソリューション

18

Pontosense

高齢者の転倒を98%の精度で検知するワイヤレスセンシング

21

PragmaClin Research

パーキンソン病患者の遠隔モニタリングと治療管理が可能に

24

Skinopathy

個人に合わせた、非侵襲的な健康モニタリングとスキンケア診断

27

INTRODUCTION

Japan Aging Tech CTA Program

The Canadian Technology Accelerator (CTA) ジャパン・エイジングテックプログラムは、在日カナダ大使館、カナダ国立研究機構 産業研究援助プログラム (NRC-IRAP)、そして市場調査やスタートアップ支援を通して日本のエイジテック業界の活性化に取り組むカーターグループとのコラボレーションにより実施するものです。

このプログラムをこのタイミングで実施することには、大きな意義があります。日本は高齢化という課題に直面しており、政府は新しい技術や革新的なアイデアの導入を積極的に奨励しています。また、カナダと日本は友好関係を築いており、高齢化社会をはじめとする現代の多くの課題を解決するため、これまで以上に緊密な技術協力が進んでいます。

カナダは一昨年、インド太平洋戦略を発表し、地域の国々との科学技術およびイノベーションにおける協力体制を強化するため、日本を含む各国に対して6,500万ドルの拠出を行いました。また、昨年の秋には、カナダと日本が技術協力を進めるための2つの覚書 (MOC) に署名しています。1つは電気自動車 (EV) バッテリーのサプライチェーンに関するもので、もう1つはサイバーセキュリティ、人工知能 (AI)、量子技術、半導体、ライフサイエンスなど、産業科学に焦点を当てたものです。

日本では急速な高齢化が進行しており、医療制度が直面する課題に対して革新的な解決策が求められています。日本企業は、国際的な企業とのパートナーシップに以前にも増して前向きな姿勢を示しており、最先端技術の開発に積極的に取り組んでいます。このような環境は、カナダ企業にとって自社製品やサービスの質を向上させ、日本の消費者や企業が求める高い基準に応えるための絶好の機会となるでしょう。

CTAプログラムは、カナダのイノベーターが日本で成功するために必要なリソースや知見を提供します。さらに、このプログラムならではのサポートとして、プログラム参加企業と日本のパートナー企業、投資家、戦略的コラボレーターとのファシリテーション・通訳付きのミーティングの機会をご用意しています。この機会が、両者にとってビジネス関係を築く第一歩となることを期待しています。ぜひご参加ください。

この度は本プログラムにご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。私たちは、これから生まれるであろうコラボレーションとイノベーションに大いに期待しております。皆様と12月に日本で開催するオフラインイベントでお会いできることを心より楽しみにしております。



Nadin Nanji

在日カナダ大使館
参事官 (科学技術・イノベーション担当)

ABOUT

Canadian Technology Accelerators (CTA)

CANADIAN
TECHNOLOGY
ACCELERATORSACCÉLÉRATEURS
TECHNOLOGIQUES
CANADIENS

2013年にスタートしたThe Canadian Technology Accelerator (CTA) はカナダの貿易コミッションサービスが提供する国際的なビジネス開発プログラムです。

CTAは、優れた技術や製品を持つカナダのテクノロジー企業がグローバルな成長機会を探求するためのサポートを行っています。このプログラムは、クリーンテック、デジタル産業および情報通信技術 (ICT)、ライフサイエンス、デジタルヘルスの3つの重点分野を定め、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、シリコンバレー、メキシコ、ベルリン、ミュンヘン、香港、台北、東京、シンガポール、ロンドン、ニューデリーなど、世界各地のテクノロジーエコシステムが活発な地域で実施しています。プログラム参加企業のニーズや直面する課題に合わせたサポートを提供し、スムーズな市場参入を支援します。また、各プログラムは現地市場の実態に応じてカスタマイズされています。

2013年以降、1,100社以上がこのプログラムに参加し、7億5,400万ドルの新たな資金調達、3億1,000万ドル以上の新たな収益の創出、1,100社以上の新しいパートナーシップ、3,100以上の新しい雇用の創出を実現しています。

TEAM

CTA Program Leads



Asami Karasuda

トレードコミッショナー (ジャパンCTAリード)
在日カナダ大使館
asami.karasuda@international.gc.ca



Adam Claydon-Platt

ベンチャー責任者
リビング・ベスト
adam@living-best.tech

ABOUT

The NRC Industrial Research Assistance Program (NRC-IRAP)



National Research
Council Canada

Conseil national de
recherches Canada

The National Research Council of Canada Industrial Research Assistance

Program カナダ国立研究機構-産業研究支援プログラム（NRC-IRAP）NRC-IRAPは、70年以上の経験を持つカナダの中小企業のためのイノベーション支援プログラムで、革新的なカナダの中小企業のイノベーション能力の構築やアイデアを市場に投入するための支援をしています。

TEAM

NRC-IRAP Team



Harvey Lam

NRC IRAP Japan ナショナル・プログラム・コーディネーター
PARI NRCジャパン・プログラム・コーディネーター

Harvey.Lam@nrc-cnrc.gc.ca

AWL Electricity

[面談を予約する](#)

AWL-ELECTRICITY INC.

電動車椅子、モビリティ、その他のコンシューマー向け電子機器に活用される次世代型ワイヤレス充電ソリューション。高齢化社会、労働力不足の課題解決に役立ち、持続可能な社会を実現します。

 Montreal, Canada

 awl-e.com

 [awl-e-electricity](https://www.linkedin.com/company/awl-electricity)



概要

AWL-Electricityは、次世代のワイヤレス充電ソリューションを開発し、高齢化社会の課題解決や持続可能な社会の実現に貢献します。

売上高：100万ドル未満

投資ラウンド：シード・エンジェル

ステータス：商業初期段階

技術成熟度： 9

ターゲット市場：電動車椅子市場（市場規模は約12億ドル）

専門分野：モビリティ、家庭用ロボット、産業用ロボット、電気自動車、次世代自動車、ウェアラブルデバイス、スマートデバイス

求めるもの：共同開発パートナー
（電動デバイスの製造メーカー）

製品/サービス概要

CAPACITIVE ワイヤレス電源ソリューション

アジャイルステーション：電動車椅子やスクーターなど、電動モビリティ機器向けのワイヤレス/自律型充電ステーションです。ケーブルやコードを必要とせず、ユーザーの自立性を高めます。電動ロボットやその他のデバイスにも適応可能です。当社が初期に開発した基幹商品です。

技術統合 – モジュールとライセンス

有償の実証実験（POC）で適応性と効果を検証した後、共同開発やライセンス契約へと進みます。このプロセスでリスクを軽減し、得られる成果を最大化することができます。

ターゲット市場の規模と可能性

モビリティ市場：アジャイルステーションは、120億ドルの市場規模を持つ電動車椅子市場をメインターゲットにしており、さらにeバイクやスクーターにも活用の幅を広げています。特に、eバイクは29億ドルの市場規模があり、大きな可能性を秘めています。

自動車、産業自動化、コンシューマー向け電子機器市場：ヨーロッパおよび日本の主要企業と開発契約を結び、ライセンス提供やモジュール販売を行うことを目指しています。数十億ドルの収益を見込んでいます。

AWL Electricity

[面談を予約する](#)

競争優位性、革新性、独自性

AWL-Eの技術は、高いミスアライメント耐性とEMC認証を実現し、従来のワイヤレス充電における制約を克服しました。動く対象物や不規則な配置のデバイスの充電も安定して行えます。高周波共振キャパシティブ転送により、金属が多い環境でも1メートル以上の距離で効率的かつ熱の発生なしに電力を伝送することができます。

「アジャイルステーション」は、コンシューマー向け電子機器用の最も強力なワイヤレス充電器で、FCCおよびULの認証を取得するための要件を満たしています。提供するシステムには、高出力オプション（最大3.5kW、0-300mmの範囲）と長距離システム（最大2メートル、40ワット）が含まれます。

競合分析

WiTricityおよびその他の車両用インダクティブ充電を提供する企業：インダクティブ充電は大きなコイルが必要で、熱の問題も発生します。AWL-Eはインダクティブ充電よりも小型で、迅速に認証できます。

Wiferionおよびその他のロボット用インダクティブ充電を提供する企業：ロボット用インダクティブ充電は、送信コイルと受信コイルの正確な位置合わせが求められます。AWL-Eのキャパシティブシステムは位置合わせの要件が緩やかで充電ゾーンも広いいため、動くデバイスに向いています。

Energous、Ossiaおよびその他のRF企業：無線通信やワイヤレス電力伝送は出力が制限されています。AWL-Eは、より多くの電力の安全な長距離伝送を可能にします。

Solace Power：同社はデータ転送に注力しています。AWL-Eは、特定の基準を満たした高出力の技術や製品において非常に優れた性能を持っています。

収益モデル

AWL-Eは、「アジャイルステーション」（ワイヤレス充電ステーション）のハードウェアを直接販売するほか、製造業者への技術ライセンス、他業界のパートナーからロイヤリティを受け取ることで収益を得ています。これにより、技術的な信頼性と市場での存在感を高めつつあります。

主要なマイルストーン

- 世界最強の出力を持つ認証可能なワイヤレス充電器を開発。
- Forviaや三菱電機などの主要OEMとの契約を締結。
- ワイヤレス電力伝送に関してInfineon Technologiesとのパートナーシップを締結。
- パリ2024オリンピックで紹介される。
- 国際イベントにおいてカナダ政府から革新性が評価される。

受賞歴とノミネーション

2024 カナダ領事館により、Global Corporate Venturing Summit 2024の参加メンバーに選出される。

2024 トヨタ・モビリティ基金のメンバーに選出される。

2024 MaRS Discovery Districtのメンバーに選出される。

2024 Infineon Technologiesのパートナーとなる。

2024 当社初の製品（電動車椅子用充電器）がパリ・パラリンピックで展示される。

2024カナダ・テクノロジーアクセラレーターのSilicon Valley Autotech Programに選出される。

AWL Electricity

[面談を予約する](#)

会社情報

本社所在地：カナダ・モントリオール

設立年：2020年

従業員数：15名

URL: <https://awl-e.com/>

会社紹介資料は以下のリンクから。

[Download link](#)

ショートムービー(Link)



設立の背景

テスラの夢であったワイヤレス電力を実現したいというグレン氏のビジョンと、ヴェルドン氏のモビリティに対する個人的な関心が結びつき、AWL-Eが設立されました。そして、最初の製品である「アジャイルステーション」が誕生し、モビリティデバイスの充電方法を革新しました。

代表者

副社長 兼 事業開発ディレクター Francis Beauchamp-Verdon

29歳

AB InBev、Sanexen、Kinova Roboticsなどの大手企業において、ロジスティクスエンジニアリングとして活躍した経歴を持ちます。AWL-Eでは、優れた社交性と交渉スキルを活かし、ビジネス開発とイノベーションの推進に取り組んでいます。



経営陣とアドバイザーボード

Emmanuel Glen (共同創業者兼CEO)

テクノロジーに対する優れたアイデアとビジョンが、当社のイノベーションと市場でのリーダーシップの原動力となっています。Kinova Robotics社、Pratt & Whitney社での勤務経験があります。

Felix Champagne-Lapointe (CTO)

深い技術的専門知識と柔軟な発想力、リーダーシップ能力を持っています。Morgan Stanley、Noviflow、Broadsign Control、Octasicなどでの勤務経験があります。

Sandra Beauchesne (CPO)

Ericsson North Americaでの知財部長として膨大な知財ポートフォリオを管理・開発した豊富な経験を活かし、AWL-Eでは独自の知的財産を創出しています。

Tim Tokarsky (投資家/i4 Capital、取締役会メンバー)

Organovo、Brightscope、Sonder、Mirametrix、Accion Systems、Sportlogiqなどの企業に初期投資を行った手腕を持ちます。

Axtion Independence Mobility

[面談を予約する](#)

RAYMEX LIFT

転倒予防、転倒からの体勢回復、日常生活のためのモバイル式電動リフト

📍 オタワ、カナダ

🌐 raymexlift.com

🌐 axtion-independence-mobility-inc



概要

RAYMEX Liftは、転倒防止、転倒からの体勢回復、高齢者の日常生活に役立つモバイル式電動リフト。特別なベルトや吊り下げ装置は不要で、介護者にとって使いやすい設計です。手頃な価格で導入できます。

売上高: 100万ドル未満

投資ラウンド: 外部資本なし

ステータス: 検証段階

技術成熟度: 8

ターゲット市場: 高齢者および転倒リスクのある人々

専門分野: 予防医学、高齢者ケア医療機器、遠隔医療サービス

求めるもの: 製造および流通におけるパートナー（ライセンスモデル）

製品/サービス概要

RAYMEX Liftは、ローレーター（歩行をサポートするための補助具）の代替となるポータブルリフトです。床面から最大24インチ（約60cm）まで調整可能な昇降シートを備えており、椅子やベッド、車からの移乗をサポートする回転ハンドルもあります。シートは回転可能で、利用者が立ち上がりたり歩いたりしやすく、キッチンや洗面所での作業もスムーズに行えます。トイレでの使用も考慮された安心設計で、狭いスペースや輸送時には内側に折りたたむことができます。シートの位置調整が可能なので、座位から立位への運動も行え、シートが動く際には自動で安全ブレーキが作動します。

ターゲット市場の規模と可能性

- 全医療用リフトの市場予測：2024年: 42億ドル、2030年: 78億ドル、年平均成長率: 10.85%
- モバイル医療用リフトの市場予測：2024年: 7億ドル、2030年: 14億ドル、年平均成長率: 12.70%
- RAYMEX Liftの市場予測：2025年: 450万ドル、2030年: 6500万ドル、年平均成長率: 最大70%

RAYMEX Liftは、特別なベルトや吊り下げ装置を不要にすることで、自宅や介護施設での使いやすさと競争力のある価格を実現しました。アメリカやカナダにはすでに潜在顧客（流通業者や一般消費者等）がおり、需要のあることが証明されています。

競争優位性、革新性、独自性

RAYMEX Liftは、1つのデバイスで、転倒からの体勢回復、移乗補助、日常生活での多目的移動、リハビリテーションという4つの機能を持つ独自製品です。組み立ては不要、軽量かつポータブルで、操作も簡単です。

Axtion Independence Mobility

[面談を予約する](#)

競合分析

RAYMEX Liftは、転倒からの体勢回復や自立した移動を可能にする高齢者向けの4-in-1のポータブル移動装置です。主な競合には、IndeeLift、MAIDeSITE、Sara Flex、Raiser II、ベルトやネットを利用するスリング型リフト（ホイヤータイプや天井式）が含まれます。

収益モデル

病院、介護施設、卸売業者、一般消費者に直接販売します。定価は3,883米ドルで、粗利率は45%です。カナダ、アメリカ市場からスタートし、今後はイギリスやヨーロッパへの拡大を計画しています。

地域によっては直接販売せず、知的財産や設計・製造方法を現地企業にライセンス供与し、同企業が製造、流通、販売を行う方法でサービスを提供します。日本はこのライセンスモデルの候補市場です。

主要なマイルストーン

- 市場向けプロトタイプ完成とユーザーテストの実施。
- IEC認証の進行中。その後、カナダ（Health Canada）とアメリカ（FDA）の規制当局に申請を行う予定。
- カナダおよびアメリカ販売代理店と覚書を締結。
- シリーズAの投資ラウンドが進行中。
- トヨタ・モビリティ財団のMaRS Mobility Unlimited Hubに選定される。
- Aging2.0 Global Innovation Searchのファイナリストに選出される。
- 2024年12月までにアメリカ、2025年初頭までカナダで販売開始予定。
- アメリカ、カナダ、日本、EU諸国を含む42か国で特許出願中。

受賞歴とノミネーション

2022 Aging2.0 Longevity Economy Showcase Competition（大西洋カナダ）で優勝する。

2022 RESNA IMPACT Award & Audience Choice（北アメリカ）で優勝する。

2022 カナダのトップ10イノベーターに選定される。

2023 AGE-WELLナショナルインパクトアワードのファイナリスト（カナダ）に選出される。

2024 Longevity Economy Summitのファイナリスト（グローバル）に選出される。

2024 Aging2.0 Global Innovation Searchのファイナリスト（グローバル）に選出される。

2024-2025年: トヨタ・モビリティ財団のMobility Unlimited Hub（MaRS、トロント）に選定される。

Axtion Independence Mobility

[面談を予約する](#)

会社情報

本社所在地： カナダ、オタワ

設立年： 2021

従業員数： 7

URL: <https://raymexlift.com>

会社紹介資料は以下のリンクから。

[Download link](#)

ショートムービー([Link](#))



設立の背景

創業者トレーシーの父、レイモンド氏が自宅で転倒したことが起業のきっかけとなりました。その出来事をきっかけに、移動に補助を必要とする高齢者が自立した日常生活を送るための解決策がないことに気がつきました。

レイモンド氏にちなんで名付けられた画期的なモバイル式電動リフト「RAYMEX Lift」を開発し、高齢者や歩行困難者が自立と尊厳を保つ手助けをしています。

代表者

CEO Tracey McGillivray

テクノロジー業界のリーダーとして32年間のキャリアを持ち、2つの多国籍IT企業を率いて技術サービス業界のトップに導いてきました。コンピュータサイエンスの学士号、MBA、および経済開発とイノベーションの修士号を取得しています。



経営陣とアドバイザーボード

Liam Maaskant (共同創設者 兼 CPO)

機械工学の専門家、製品デザイン、エンジニアリング、製造、規制、製品サポートに関わる。

Francois Perrault (CFO)

35年間、企業の部門CFOおよびスタートアップCFOを務める。会計監査、財務、資金管理を担当。

Dr. Gary McGillivray (最高医療責任者)

カナダの外科医。40年にわたる整形外科医としての経験を持ち、ユーザー要件、臨床安全性、臨床試験の監督を担当。

Suling Duong (最高作業療法士)

登録作業療法士（オンタリオ州）。20年にわたる高齢者や退役軍人のケアやリハビリに関わった経験を生かし、ユーザー要件、ユーザーおよび臨床教育を担当。

John Glowacki (CRO)


フォーチュン200企業の元CTOおよび事業開発担当、カナダ政府の元副大臣、退役米空軍。マーケティングと営業を担当。MBA取得。

Kinetisense

[面談を予約する](#)

KINETISENSE INCORPORATED

世界初！特許取得済みのマーカーレスモーションキャプチャシステム

 メディソンハット、カナダ kinetisense.com kinetisense

概要

Kinetisenseは、臨床分野におけるマーカーレスモーションキャプチャ技術のリーディングカンパニーです。Kinetisenseシステムは、小型の3D深度センサーを使用し、3つの平面で人間の動きを多角的に把握して正確に分析します。

売上高: 100-500万ドル**投資ラウンド:** シード・エンジェル**ステータス:** 販売拡大ステージ**技術成熟度:** 9**ターゲット市場:** 高齢者（65歳以上）の人口分析**専門分野:** デジタルヘルス予防医学、高齢者介護用の医療機器、遠隔医療ウェアラブルデバイス、スマートデバイス**求めるもの:** 医療パートナー（病院および医療提供者）、販売パートナー

製品/サービス概要

Kinetisense マーカーレスモーションキャプチャ

このシステムは、小型の3D深度センサー、ノートPC、ソフトウェアを使用して、人間の動きを3つの平面（前後・左右・上下）で捉え、正確に分析します。歩行リスク、姿勢、3D関節可動域、3Dバランス、3D機能など、さまざまなモジュールが含まれており、高齢者の転倒リスクを多角的に評価します。Kinetisenseは、人間の動きに関するデータをリアルタイムで高精度に収集・分析し、医療現場での評価をより効率的かつ客観的に行えるツールです。

高齢者の転倒は非常に深刻な問題であり、一度転倒すると生活の質が著しく低下するだけでなく、時には命に危険を及ぼすこともあります。Kinetisenseは、こうした転倒リスクを事前に特定し、防止するためのスクリーニングツールを提供します。この転倒リスクモジュールは、患者の歩行データをリアルタイムで分析し、迅速かつ信頼性のあるリスク評価を行うシステムです。患者がセンサーに向かって歩く際の歩行を分析できる初のシステムで、歩行の非対称性、ケイデンス、歩幅の変動、歩行速度などのデータが評価完了後すぐに計算されます。先進的なアルゴリズムとコンピュータ学習を活用し、特定の歩行パラメータに基づく研究やピアレビューを参照することで、転倒リスクの確率が計算されます。

また、追加のバランステストを実施することで、患者の神経固有感覚能力に関する貴重なフィードバックを得ることができます。新しいKTR2ロボットシステムは、患者を遠隔で分析できる機能を備えており、医療従事者が遠隔で患者の様子を把握・分析することを可能にします。

Kinetisense

[面談を予約する](#)

競争優位性、革新性、独自性

Kinetisenseは、国際的な受賞歴を有し、2017年にはIntel International Developers Awardを受賞しています。最先端の人工知能とコンピュータ学習を駆使して、人間の動きを正確に把握・分析し、転倒時の怪我のリスクをスコアリングする特許取得済みのソリューションです。Kinetisenseは、SDKで得られた生データからリアルタイムで外れ値を除去し、全体的な精度を30~40%向上させる独自の「モーションキャプチャエンジン」を開発しました。

また、Kinetisenseの精度は複数の大学で評価されており、バイオメカニクス研究における「ゴールドスタンダード」とされる9台のカメラを使用したViconシステムと同等であると認められています。今後、医療やリハビリテーションなどの現場での利用が期待されています。さらに、KinetisenseはMicrosoft、Intel、MLB、NBA、FOX Rehab、Mayo Clinicなどとの戦略的パートナーシップを構築しています。

競合分析

Kinetisenseは転倒リスクを分析する唯一の3Dマーカーレスモーションキャプチャシステムです（当社調べ）。当社独自のモーションキャプチャシステムは、大学のバイオメカニクスラボ（VICON）システムと同等の精度を持つことが証明されています。

収益モデル

Kinetisenseは、ソフトウェアライセンスのサブスクリプションモデルを採用しており、年間ライセンス費用は4,999米ドルです。ユーザーは、基準を満たしたノートパソコンと3Dセンサー（約200米ドル）の購入が必要です。また、KTR2ロボットシステムを導入する場合は、Kinetisenseのライセンス料に加え、初期費用として6,900米ドルが必要となります。

Kinetisenseは、ソフトウェアを直接販売するほか、再販業者や流通業者を通じて販売しています。現在、日本には販売パートナーが存在しないため、連携先を見つけて強力な流通ネットワークとチャネルを確立したいと考えています。

主要なマイルストーン

Kinetisenseは、商業用の3Dセンサー（iPad Pro）を使用した最先端の特許取得済みマーカーレスキャプチャシステムです。その転倒リスクモジュールは、「歩行」「座位から立位に移動し、再び座る動作を5回繰り返すテスト」「CTSIB（バランステスト）」「タイムアップ・アンド・ゴーテスト（立ち上がりから一定の距離を歩くまでの時間を測定するテスト）」を測定し、瞬時にフィードバックを提供します。これにより、患者の対応に優先順位を付けたり、特定の患者の転倒リスクを相対的に評価したりすることが可能になります。Kinetisenseは、病院、外来リハビリ、在宅ケア、介護施設において、科学的根拠に基づいた効果的な対応や治療法の選択に役立てられます。

Kinetisenseは現在、米国退役軍人省の医療システムで使用されており、最近、TRM（技術的参照モデル）に認定されました。また、Kinetisenseは25カ国以上で販売されており、11言語に翻訳されています。さらに、Kinetisenseのデータ管理は世界各国のコンプライアンス基準を満たしており、7台のサーバーに分散しているため、高い安全性を確保しています。

Kinetisenseは、Mayo Clinic、Cleveland Clinic、米国空軍などの組織によって利用されており、臨床やパフォーマンス評価の分野で標準的な存在となっています。

Kinetisense

[面談を予約する](#)

会社情報

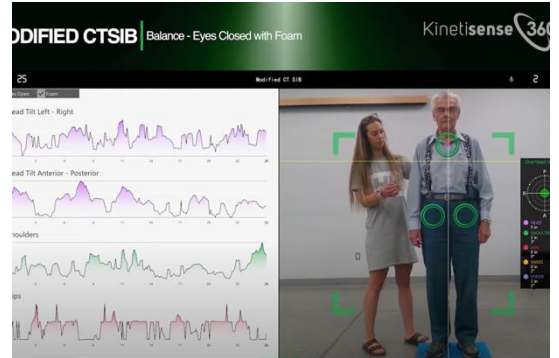
本社所在地: メディソンハット、カナダ

設立年: 2015

従業員数: 10

URL: <https://kinetisense.com>

ショートムービー(Link)



設立の背景

Kinetisenseは、医療業界における重要な課題の一つである、科学的根拠に基づく客観的な人間の動作分析を実現するために設立されました。医療従事者は、患者の動きや変化をリアルタイムで正確に把握できるように、これにより患者の健康状態の改善や治療の成功率、さらには生活の質の向上を目指しています。

代表者

CEO、共同創設者、ディレクター Dr. Ryan Comeau

Kinetisenseは、筋骨格評価の専門知識を持つ医療の専門家によって開発されました。これは、医療従事者のために、実際に医療の専門家が手掛けたものです。また、Kinetisenseには、非常に優れた臨床チーム、開発チーム、そしてアドバイザリーボードが揃っています。



経営陣とアドバイザリーボード

Dr. Ryan Comeau (CEO、共同創業者)

南カリフォルニア大学健康科学部で博士号を取得。北アメリカや世界各地で講演やプレゼンテーションを行っており、マーカーレスモーションキャプチャーの専門家です。

David Schnare (MBA、共同創業者、技術部長)

Hewlett Packardで26年以上にわたりIT分野での経験を積み、トレーニングや実務を通じて技術的およびビジネススキルを常に向上させてきました。

Dragana Vukovic (インバウンド営業 兼 戦略的パートナーシップ担当部長)

Pat O'keefe (アウトバウンド営業部長)

Tess Zinger (トレーニング 兼 導入担当部長)

受賞歴とノミネーション

2017年 Intel International Development Award受賞

2020年 Leading Edge Award受賞

2022年 AsTech Award受賞

LUCID

[面談を予約する](#)

RESONANCE RX

高齢者のメンタルヘルスを向上させる音楽療法

📍 トロント、カナダ

🌐 resonance-rx.com

🌐 thelucidproject

LUCID

概要

Resonance Rxは、特許取得済みで臨床的に検証されたAIを活用した音楽療法機器です。音楽療法、音声ベースの認知行動療法（CBT）、および認知ゲームを提供し、高齢者の不安やうつ、孤独感の軽減を目指しています。

売上高: 100-500万ドル

投資ラウンド: シリーズ A

ステータス: 商業初期段階

技術成熟度: 9

ターゲット市場: 日本の市場規模 5000億円、アメリカの市場規模 135億ドル

専門分野: AI感情認識によるデジタルヘルス、メンタルケア、バイタルセンシング

求めるもの: 商業化パートナー、研究パートナー、投資

製品/サービス概要

Resonance RX

Resonance Rxは、高齢者の不安やうつ、孤独、落ち着きのない状態に対処するために設計された深層強化学習を用いた音楽療法機器です。特許取得済みのAIを活用したプログラムにより、音楽療法、音声ベースの認知行動療法（CBT）、認知ゲームを提供します。初めは認知症患者をターゲットとしていましたが、現在は多くの高齢者にも利用されています。カメラによる診断で検出された高齢者の感情や症状の段階に基づいて治療法をカスタマイズし、介護者や医師がリモートで効率的に治療を管理できるようにサポートします。

ターゲット市場の規模と可能性

日本のAI音楽療法市場は、精神的健康の問題を抱える高齢者の推定人口1,000万~1,200万人を対象としています。1人あたり月額7,375円の市場価格に基づく、ビジネスチャンスは1兆円に達します。また、高齢者人口は今後10年間で年率2%の増加が見込まれています。介護者不足の問題が顕在化していることや、日本の医師が薬を使用せずに治療を行うことを好む傾向があるため、この市場は今後も成長すると予測されています。

競争優位性、革新性、独自性

Resonance Rxは、利用者の特性や病状に応じたカスタマイズと即時対応が可能なAIベースの非薬物治療です。アメリカのFDA（食品、医療機器などの安全性や効果を評価し、規制するアメリカの政府機関）による認可を受けており、さらに連邦保険の対象にもなっているため、保険適用や臨床データを持たない競合他社に対して独自のポジションを確立しています。

LUCID

[面談を予約する](#)

競合分析

Resonance Rxの主な利点は、アメリカの音楽療法で唯一保険（この場合はメディケア）が適用される製品であり、患者が無料で利用できることです。競合他社であるVera HealthやMusic & Memoryなどは、このような保険適用がないことに加え、AIによってカスタマイズが可能な点や臨床データによって治療の効果が証明されている点も異なります。

収益モデル

LUCIDは、臨床医療機関と提携し、Resonance Rxを提供しています。アメリカでは医療機関が患者の利用に対して月額90ドルを請求し、患者は支払った料金が公的医療保険であるメディケアによって払い戻されます。このモデルは、従来型の治療を補完し、多くの患者に治療を提供できる仕組みです。日本でも同様の価格設定での提供を予定しています。

主要なマイルストーン

Resonance Rxは、FDAによりクラスII免除医療機器として承認され、患者がメディケアの払い戻しを受けられるようになったことで、市場への参入が進みました。南カリフォルニア大学によって臨床的に検証されており、高齢者の落ち着きのない状態を効果的に改善します。

受賞歴とノミネーション

- 2022年 CAHBIサミット // Age-Well Peoples Choice Award受賞。
- 2023年 アルツハイマー協会（英国）よりLongitude Prize Discovery Award受賞。
- 2023年 AARP AgeTech Collaborative Acceleratorに選出される。
- 2023年 FDAの承認を受ける。
- 2024年 Endless Frontier Lab Acceleratorに選出される。

LUCID

[面談を予約する](#)

会社情報

本社所在地: トロント、カナダ

設立年: 2019

従業員数: 15

URL: <https://www.resonance-rx.com/>

ショートムービー(Link)



設立の背景

LUCIDは、個々の特性や病状に応じた非侵襲的療法を通じて、認知症の人々の生活を改善したいという思いで設立されました。音楽がメンタルヘルスを向上させる可能性に着目し、安全で効果的なAIベースのソリューションを提供することで、メンタルヘルスケアの革命を目指しています。

代表者

CEO Zachary McMahon

Zach(CEO) : IT製品開発において8年の経験を積んだ後、トロント大学MBAを優秀な成績で取得しました。その後、ZS社で製薬コンサルタントとして活躍した経験があります。

Aaron(CTO) : 音楽とComputational Creativity (応用AI) の学位を持ち、LUCIDの4つの特許の執筆を担当しました。



経営陣とアドバイザーボード

Aaron (CTO 兼 共同創業者) は、双極性障害を克服した個人的な経験と、AIシステム設計者としての専門知識を生かして、LUCID の複数の特許を執筆し、メンタルヘルスを改善する画期的なソリューションの開発に力を注いでいます。

Zach (CEO兼共同創業者) は、製薬コンサルティングを通じてヘルスケアの現状を把握し、家族のメンタルヘルス問題をきっかけにLUCIDを共同設立しました。専門的な知識と個人的な経験に基づき、優れたリーダーシップを発揮しています。

Spencer (営業) は、服薬管理プラットフォームを設立し、成長させた後に売却した経験を持っています。ユーザーの導入に関する課題を理解しているため、当社の成長戦略を推進するのに最適な人物です。


Frank (CSO) は、音楽心理学と情動神経科学の専門家であり、著作は162冊以上に及びます。


NuraLogix

[面談を予約する](#)

NURALOGIX CORPORATION

感情AI技術で人々の健康意識を向上させる

 トロント、カナダ

 nuralogix.ai

 nuralogix-corporation



概要

従来のビデオカメラを使用することで、当社のクラウドベースの感情AIエンジンは、生理的および心理的状态という形で現れるさまざまな人間の感情を検出し、測定することができます。

売上高: 100万ドル未満

投資ラウンド: シリーズB

ステータス: 商業初期段階

技術成熟度: 9

ターゲット市場: ヘルスケア/ウェルビーイング

専門分野: AI (画像認識、画像解析)、デジタルヘルス、予防医療、高齢者ケア、メンタルケア、バイタルセンシング

求めるもの: パートナー: 保険、注目すべき重要産業 (例: 製造業、建設業、物流、輸送)、企業のウェルネス、研究

製品/サービス概要

感情AIによる非接触型バイタルサイン測定ソリューション

DeepAffex™は、特許取得済みのクラウドベースの感情AIプラットフォームです。従来のビデオカメラと経皮光学イメージング (TOI™) 技術を用いて、顔の血流情報を抽出し、100以上のパラメーターで健康状態や生活の質を測定することが可能です。これらの技術は、ウェルネス測定アプリであるAnura™に活用されており、その有用性が実証されています。DeepAffex™は、生理的および心理的状态という形で現れるさまざまな人間の感情を測定する高度な機械学習モデルを採用しています。

このプラットフォームは、さまざまな病状を持つ5万人以上の患者から得られたデータを基に開発されました。NuraLogixの予測モデル研究は、現在11件の国際的な査読付き研究出版物に掲載されており、さらに2件の出版物が進行中です。また、NuraLogixは17件の米国特許を保有しています。

ターゲット市場の規模と可能性

社会の急速な高齢化と人口減少に対応するため、医療技術を含むヘルスケアテック市場は、2030年までに日本だけで13兆円に達する見込みです。NuraLogixは、この市場をターゲットに非接触型のバイタルサイン測定技術を提供します。

NuraLogix

[面談を予約する](#)

競争優位性、革新性、独自性

韓国、台湾、イスラエル、日本にはいくつかの競合他社が存在しますが、NuraLogixの優位性は、クラウドベースの感情AIと経皮光学イメージングを活用することで、高い精度で多くのパラメーターを測定できる点にあります。

競合分析

Binah.aiは主要な競合他社です。NuraLogixは研究データに基づいた開発で特許を取得しており、100以上のパラメーターを測定することが可能です。特に、血圧測定技術において先駆的な地位を築いています。

主要なマイルストーン

米国および世界各国で17件以上の特許を保有しています。NuraLogixとAnuraは、CESやMWCなどの国際的な賞を含む複数の賞を受賞しています。

NuraLogix

[面談を予約する](#)

会社情報

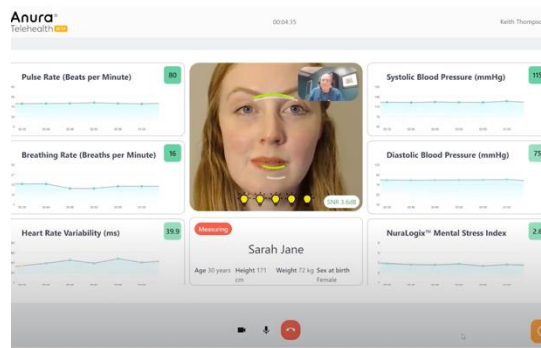
本社所在地：トロント、カナダ

設立年：2015

従業員数：50

URL: <https://www.nuralogix.ai/>

ショートムービー(Link)



設立の背景

私たちは、非接触型のバイタルスキャン技術を提供し、急速な高齢化と人口減少に対応します。誰もがスマートフォンなどのデバイスを使って心拍数や血液状態を定期的に測定できるようになり、より健康的な生活を送ることができる社会の実現を目指します。

代表者

営業部長（日本） Tomoki Maruyama

データサイエンス、システム制御設計、組込みソフトウェアおよびシステムの分野において、豊富なビジネス経験を有しています。



経営陣とアドバイザリーボード

Marzio Pozzuoli

最高経営責任者（CEO）


経験豊富で熱意あるテクノロジー起業家で、製品開発の分野で30年以上の実績があります。NuraLogixに参画する前は、通信ネットワーク会社であるRuggedComを創業し、成長を遂げた後に売却に成功しました。2013年には、CVCA（カナダのベンチャーキャピタル協会）から「年度最優秀起業家」に選出されました。

Pontosense

[Web会議を予約する](#)

PONTOSENSE INC.

高齢者の行動やバイタルサインを検出するワイヤレスセンサー技術

 トロント、カナダ pontosense.com pontosense

概要

Pontosenseは、500件以上の特許を持つ業界トップのエンジニアたちによって設立されました。高度な無線センサーとAIを活用し、高齢者の転倒、動き、およびバイタルサインをカメラやウェアラブルデバイスを使用せずにリアルタイムで検出します。

売上高: 1000万ドル以上**投資ラウンド:** シリーズA**ステータス:** 販売拡大ステージ**技術成熟度:** 9**ターゲット市場:** アメリカ、日本、ドイツ、イギリス
合わせて450億ドルの市場規模**専門分野:** デジタルヘルス、バイタルセンサー、
モビリティセンサー、MEMS**求めるもの:**

戦略的流通パートナー（通信会社、公共事業、ケアプロバイダー、セキュリティ、保険、配送、商社）、投資

製品/サービス概要

Pontosense Silver Shieldは、高齢者の安全を守るための非侵襲的で高精度なワイヤレスセンサーです。転倒を検出すると、リアルタイムでスマートデバイスに警報を送信し、迅速な対応を可能にします。これにより、深刻な健康問題を防ぎ、問題発生から対応までの時間を数時間から数秒に短縮することができます。この技術は、介護サービスを提供する企業や施設で広く採用されており、介護の質を向上させるとともに、高齢者が安心して生活できる環境をサポートしています。

ターゲット市場の規模と可能性

潜在的な市場規模は、2025年までに米国、日本、ドイツ、英国などの主要地域で450億米ドルに達すると予測されています。世界的に高齢化が進む中、Pontosenseによる高齢者の安全を守るワイヤレスセンシング技術への需要は増加し、介護者不足の解消や介護の質の向上に寄与することが期待されています。Pontosenseはすでに月50万ユニットの生産能力を持ち、事業の拡大に注力しています。

Pontosense

[Web会議を予約する](#)

競争優位性、革新性、独自性

Pontosenseの技術は、特許取得済みのワイヤレスミリ波レーダーを使用しており、従来のセンサーに伴うカメラによるプライバシーの問題や、ウェアラブルデバイスを常に着用しなければならないという課題を解消しつつ、ほぼ100%の精度を実現しています。Pontosenseは、500件以上の特許を保有するエンジニアチームが開発に携っており、業界最高水準の精度を誇るとともに、大量生産を実現しています。また、競合他社と異なり、Pontosenseは設計、製造、テストの全工程を自社で管理しているため、精度と生産歩留まりの両方を最大化しながら、コストを最小限に抑えています。

競合分析

Vayyar - Pontosenseの技術は精度において3倍の優位性があります。

収益モデル

介護施設やサービスプロバイダーへのハードウェアの販売およびソフトウェアのサブスクリプションによって収益を得ています。月額料金は、管理対象の部屋数やサービス対象者数に基づいて決定されます。介護施設やサービスプロバイダーが利用者に請求する月額料金の一部が、Pontosenseに支払われる仕組みです。

主要なマイルストーン

Pontosenseは、主要市場で医療機関とパートナーシップを築き、イノベーションに関する数多くの賞を受賞しています。これまでに11件の特許を出願しており、さらに9件の特許が進行中です。また、カナダのIC、アメリカのFCC、EUのCE、イギリスのUKCA、日本のMICなど、通信機器や無線機器に関する国際的な技術基準の認証を取得しています。

受賞歴とノミネーション

2024年 Canadian Technology Accelerator (CTA)プログラムに選出される（日本）。
2024年 Canadian Business Innovation Award受賞。
2024年 Sensors Convergeベスト・センサー賞（ファイナリスト） - 自動車/自律走行およびIoT部門
2024年 IoT Global Awards受賞 - 今年のコネクテッドヘルス製品
2024年 CES Innovation Award名誉賞 - 車両技術および高度なモビリティ
2024年 Health Tech World Award 今年のリーダー（ショートリスト）
2023年 Digital Engineering Awards - 今年のエンジニアリング製品
2022年 IEEE HI-TC優秀賞

Pontosense

[Web会議を予約する](#)

会社情報

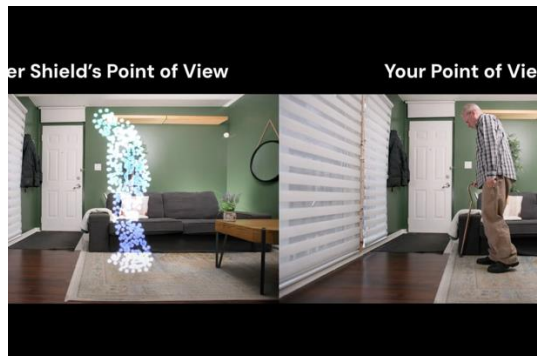
本社所在地：トロント、カナダ

設立年：2021

従業員数：45

URL: <https://www.pontosense.com>

ショートムービー(Link)



設立の背景

テクノロジーを人間の生活や行動により深く関与させることで、日常生活に密接に関連するテクノロジーを革新するために設立されました。私たちの使命は、医療分野で用いられる水準の非侵襲的センシング技術を活用し、健康、行動、感情を理解することで、世界中の人々の生活をより安全で健康なものにすることです。

代表者

COO Muxin Ma

Pontosense の COO として、健康と安全な生活の実現に向けたワイヤレスセンシングの革新に取り組んでいます。

HRの専門知識を生かして、フォーチュン500企業が成功するために必要な人材やその背景を理解し、ビジネスの課題を解決する手助けをしてきた豊富な経験があります。



経営陣とアドバイザリーボード

Alex Qi(CEO)

経験豊富な経営コンサルタントであり、連続起業家。シカゴ大学ブースビジネススクールでMBAを取得。

Yihong Qi(CTO)

500件以上の特許を保有する。サンウェイ (300136.SZ) の共同創設者であり、ENICEの共同創設者および元CTO、DBJayの共同創設者および元CEO、General Test Systemsの共同創設者。

Muxin Ma(COO)


人事および組織のリーダーとして豊富な経験を持ち、Pontosense参画前には世界的なフォーチュン500企業の従業員およびチーム管理を支援していました。

PragmaClin

面談を予約する

PragmaClin Research Inc.

即時性のある遠隔モニタリングシステムで、パーキンソン病の治療を変革する

📍 セントジョンズ、カナダ 🌐 pragmaclin.com  pragmaclin-research-inc

概要

PragmaClinのPRIMSは、深度カメラとAIを活用してパーキンソン病の症状をモニタリングし、医療従事者の患者の病状管理や治療方針の決定を改善する機能を提供します。

売上高: 100万ドル未満**投資ラウンド:** 外部資本なし**ステータス:** 検証段階**技術成熟度:** 7**ターゲット市場:** 世界に1,000万人以上いるパーキンソン病患者**専門分野:** AI (画像認識、画像解析)、3D画像、立体画像、デジタルヘルス、予防医学、高齢者介護、医療機器、遠隔医療**求めるもの:** 研究、医療、技術のパートナー、投資

製品/サービス概要

PRIMS (Parkinson's Remote Interactive Management System)

PRIMSは、パーキンソン病患者の治療管理に役立つソリューションを提供します。これにより、患者が治療を受けるまでの待機時間が短縮され、医療従事者は患者の病状を一貫した方法で継続的に観察し、客観的なデータを得られるようになります。深度カメラ（三次元情報を取得するカメラ）と機械学習を活用することで、対面での訪問なしに詳細な運動評価と定期的なモニタリングが可能となり、リアルタイムで正確なデータを得られます。これにより、MDS-UPDRS基準（パーキンソン病の症状や機能を評価するための標準的な評価尺度）に基づいた疾患評価や治療計画が実施でき、治療の質の向上、コスト削減、さらにはより良い治療結果へとつながります。

ターゲット市場の規模と可能性

医療現場のモニタリング市場は、2023年の51.8億ドルから2030年には88.4億ドルに成長すると予測されており、年平均成長率は7.90%です。PRIMSは、医療現場における新技術や手法を活用し、使いやすいモニタリングツールのニーズに応えることで、治療方針の決定を支援し、その効果を向上させます。また、パーキンソン病以外の神経疾患の治療にも活用の幅広げ、デジタルヘルスや遠隔医療の分野で広く展開できる可能性を秘めています。

競争優位性、革新性、独自性

PRIMSは、深度カメラ、機械学習、リアルタイムモニタリングを組み合わせている点で他のシステムと一線を画しています。これにより、主観的な評価ではなく、客観的かつ標準化された評価を提供します。また、従来の遠隔医療プラットフォームやウェアラブル健康デバイスと比較して、非侵襲的なカメラベースのシステムを提供できることも大きな特徴です。さらに、既存の機器を活用することで、パーキンソン病以外の神経疾患の管理や診断にも対応可能です。

PragmaClin

[面談を予約する](#)

競合分析

- 1.Mon4t Home and Clinic:** スマートフォンを利用していますが、機能がスマホのセンサー依存するため、アクセスが制限されます。
- 2.PDMonitor:** ウェアラブルデバイスを使用しており、患者がデバイスを正しく着用しなければならないという課題があります。
- 3.Kelvin ReachおよびKelvin Clinic:** 予測分析に重きを置いていますが、その他の機能が充実していません。また、タブレットやスマートフォンに機能が左右されます。

PragmaClinの競争優位性

- 1.客観的で詳細な分析:** 深度カメラと機械学習を用いて、運動に関するデータを三次元（3D）で詳細に分析します。
- 2.臨床評価の一貫性:** 標準化された評価尺度MDS-UPDRSを使用します。
- 3.遠隔モニタリング機能:** 様々な環境で利用可能です。
- 4.ユーザー中心の設計:** セットアップを最小限にし、使いやすさを重視した設計です。
- 5.データに基づく洞察:** 情報に基づいた治療決定のためのリアルタイムのデータ分析を提供します。

収益モデル

ソフトウェアのライセンス料とサブスクリプション形式のPRIMS利用料が収益の源となっています。PRIMSは、治療成果や治療計画を改善するために医療従事者にとって重要なツールです。また、将来的には他の神経疾患への展開が進むことで、市場や収益の機会がさらに広がることが期待されています。

主要なマイルストーン

- 資金調達と受賞歴:** 希薄化を伴わない資金と助成金で 200 万ドル以上を調達しました。2 年間のうちに、コンテストで 50万ドル以上を獲得しています。
- 製品開発:** 主力製品であるモニタリングソフトウェアPRIMSを開発しました。
- 成長と拡大:** チームを2名から8名に拡大し、カナダ、アメリカ、アジア、EU/UK市場への進出を計画しています。
- 研究と検証:** King's College Dubaiとの臨床研究が終了し、University of Cork College、Newfoundland Balance and Dizziness Center、MaineHealth、University of Ottawa、King's College in the UKなどとの検証を控えています。商業化と初の販売に向けて取り組んでいます。

私たちは、アジア市場でPRIMSを検証し、多くの医療機関や施設で導入できるように、必要な法律や規制の承認を得るためのパートナーを探しています。

受賞歴とノミネーション

- 2022年 ブロンウィンがof Atlantic Canadaの「30歳未満のトップ30」に選出される。
- 2024年 Plug and Play UKアクセラレーターに参加。
- 2024年 The Roux Institute Future of Healthcare Founder Residencyに参加。

PragmaClin

[面談を予約する](#)

会社情報

本社所在地：セントジョンズ、カナダ

設立年：2020

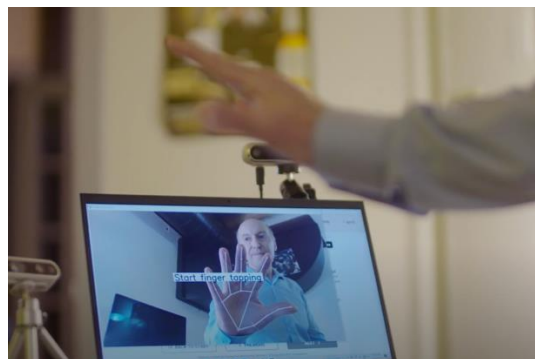
従業員数：10

URL: <https://www.pragmaclin.com/>

会社紹介資料は以下のリンクから。

[Download link](#)

ショートムービー([Link](#))



設立の背景

PragmaClinは、パーキンソン病患者の治療の改善することを目的として、パーキンソン病の患者の症状を十分に把握・管理できていない現状に対応するために設立されました。チームはパーキンソン病に関する個人的な経験を原動力としています。画期的で使いやすい技術を用いて治療を変革し、世界中の患者の治療成果を向上させることを目指しています。

代表者

CEO Bronwyn Bridges

薬学の博士課程で、パーキンソン病に対するブルーベリーの効果に関する研究中に、後に共同創設者となるパーキンソン病患者と出会いました。治療を受けるために医師の診察を待つ時間についての議論がきっかけとなり、パーキンソン病の症状をリモートでより良く管理するためにPragmaClinを創設しました。



経営陣とアドバイザーボード

Bronwyn Bridges (共同創設者兼CEO)

大学で生物学を専攻し、現在は薬学の博士課程に在籍しています。PragmaClinの資金調達を担当し、コンテストへの参加や投資家、インキュベーターとの関係を強化しています。これまでに政府の助成金やピッチコンテストを通じて250万ドル以上の資金を調達しており、神経疾患向けのデジタルヘルス技術の革新に対する強い志を抱いています。

Gord Genge (共同創設者兼COO)

理学と建築の学士号を持ち、PRIMSの開発を担当しています。自身がパーキンソン病患者であることから得た病気に対する理解や専門知識が、政府からの資金獲得に大いに貢献しており、その結果、より良い治療環境の構築に役立っています。

Colin Taylor (CTO)


25年間にわたり地理ソフトウェア技術会社の責任者として活躍した経験を持ち、その専門知識を活かしてPragmaClinのソフトウェア開発を主導しています。

Skinopathy

[面談を予約する](#)

Skinopathy

皮膚疾患の遠隔治療とスキンケア管理のためのデータ分析とAIプラットフォーム

 トロント、カナダ

 skinopathy.com

 [skinopathy](#)

SKINOPATHY

概要

Skinopathyは、データとAIを活用して、あらゆる皮膚疾患のスクリーニング、トリアージ、継続的なモニタリング、及び治療計画の策定に役立つソリューションを提供します。

売上高: 100万ドル未満

投資ラウンド: シード・エンジェル

ステータス: 商業初期段階

技術成熟度: 9

ターゲット市場: シニア層と高所得のスキンケア消費者

専門分野: AI（画像認識、画像解析）、3D画像、立体画像、デジタルヘルス、予防医療、高齢者介護医療機器、遠隔医療

求めるもの: パートナー（化粧品、製薬、小売、ヘルスケア、保険）

製品/サービス概要

SKINOPATHY WOUNDS: 高齢者、特に慢性疾患を持つ人々のためのAIを利用したデジタルヘルスツールです。非侵襲的にリモートで患者の創傷をモニタリングします。創傷のサイズや色彩的要因を分析し、回復の状況を観察することで、対面での医療訪問を減少させる遠隔医療プラットフォームです。

SKINOPATHY AI: 肌の性質やトーンを分析し、肌の特徴を分析して、それぞれの方に最適なスキンケアを提案します。化粧品、製薬、小売業界向けにオンラインで医療やスキンケアに関する相談ができるサービスを提供しています。

ターゲット市場の規模と可能性

SKINOPATHY WOUNDS: 2023年には65歳以上の高齢者が30%を超えると予想されている日本の高齢化市場を対象に、高齢者と共に暮らす家族や医療従事者が利用しやすく、多人数に対応可能なリモートモニタリングソリューションを提供します。

SKINOPATHY AI: 日本の美容市場は2024年までに470億ドルを超え、スキンケアだけでも220億ドルに達すると予測されています。2028年までの年平均成長率は2.41%と予測されており、今後も拡大していく見込みです。

Skinopathy

[面談を予約する](#)

競争優位性、革新性、独自性

SKINOPATHY WOUNDS : モバイルデバイスからアクセス可能で、遠隔医療が行えるため、対面医療の必要性が減少します。効率的で経済的かつ効果的な医療の提供を可能にし、多人数にも対応可能なソリューションです。

SKINOPATHY AI : 個々のユーザーの肌の状態やニーズに応じたスキンケア方法の提案と、医師や専門家との相談ができる仕組みを組み込むことで、美容と健康を融合します。最新の技術やAIを活用し、消費者中心のアプローチを取ることが、Skinopathy AIの革新性です。

競合分析

SKINOPATHY WOUNDS : AIを活用した非侵襲的な創傷モニタリングや、さまざまな機能が充実した遠隔医療プラットフォーム、さらにモバイルデバイスからアクセス可能な点が、日本の高齢化社会のニーズに合致しています。

SKINOPATHY AI : 肌の特性を評価する高度な技術を強みとし、パーソナライズされたスキンケアの提案と医療相談を融合することで、スキンケアに対する包括的なアプローチを提供します。

収益モデル

DTCモデル : 消費者に直接商品を販売するモデルで、患者の明示的な同意が必要です。サブスクリプション形式で保険適用の医療サービスを受けることができます。

SaaSモデル : クラウド上でソフトウェアを提供するモデルで、病院や長期介護施設、クリニック向けに利用されます。

DaaSモデル : データをクラウドベースで提供するモデルで、主に製薬業界、コスメシューティカル（皮膚疾患に効果のある成分を含む化粧品）、および保険業界向けに利用されます。

主要なマイルストーン

- 皮膚の異常分類および医療文書解析のための画像ベースおよびテキストベースのアルゴリズムを開発する。
- 2021年2月にUSPTOに特許を仮出願し、2022年2月にはカナダで評価を受ける。19の請求項のうち11が特許可能であるとの判断を得られた。
- 2023年8月には、カナダ、アメリカ、イギリス、中国への進出のためにPCT出願を行った。

受賞歴とノミネーション

- 2024年 American Burns Association Carl A. Moyer賞
- 2024年のスタートアップワールドカップにおいて、カナダを代表するスタートアップとして注目を集める。
- Canadian Innovation Exchange and Elevateによって、Early Tech Companyトップ20に選出される。
- 2023年 LG CES Las Vegasにおいて40 startups for Mission for the Futureの1つに選ばれる。
- 2023年 Canada's ISED Accelerated Growth Services program in 2023に参加。
- 2022年から2024年にかけて、イノベーションと社会的インパクトに関連するさまざまな賞を受賞。28

Skinopathy

[面談を予約する](#)

会社情報

本社所在地：トロント、カナダ

設立年：2020

従業員数：31

URL: <https://skinopathy.com/>

会社紹介資料は以下のリンクから。

[Download Link](#)

ショートムービー([Link](#))



設立の背景

Skinopathyはパンデミック中に設立されました。始めは、皮膚がん患者を対象にスマートフォンを使って皮膚の画像を分析するための現代的なツールを提供したいと考えました。その後、私たちは皮膚疾患全般をカバーするデジタルヘルスツールを作成し、最適なスキンケア製品や治療法の提案、研究開発も行っています。

代表者

CEO 兼 共同設立者 Keith Loo

世界最大手の銀行や通信会社の多くと新しいビジネスを構築した経験を持ちます。Microsoftでは、カナダでオープンソース・ソフトウェア事業を立ち上げ、同社史上最も急成長させることに成功しました。また、大規模企業の成長戦略にも取り組んできました。



経営陣とアドバイザリーボード

CEO: Keith Loo

CMO: Dr. Colin Hong

COO: Dr. Hannah Chan

CTO: Ray Kao

データ・サイエンス・リード：Dr. Rakesh Joshi

エンジニアリング・リード：Dr. Burak Yildiz

データサイエンティスト：Dr. Mahla Abdolahnjad

データ分析リード：Rayis Imayev

パートナーシップ・リード：Richard Pietro

UXリード：Gus Loo

アドバイザー

Dr. Hugh Scully (カナダ医師会元会長)

Candace Chartier (オンタリオ州長期介護協会元CEO)

Dr. Jerry Tan (皮膚科医)

Dr. Lee Errett (トロント大学グローバル外科教授)

Bosco Chan (オンタリオ州保健局元最高プライバシー責任者)

MEET THE COMPANIES

CTA Japan Aging Tech Cohort 2024 カナダ エイジテック スタートアップ ピッチイベント

本イベントは、本プログラムで選抜されたカナダのエイジテック・スタートアップ7社が登壇するピッチイベントです。

また、イベントでは、カナダのエイジテック・ソリューションの先行事例やライフサイエンス分野のトレンドを学び、パネルディスカッションでは、カナダ、日本それぞれが抱える課題を共有し、エイジテックを加速させるために両者が協力できることを探ります。

日付: 12月3日、10:30-14:00

場所: 在日カナダ大使館

定員: 100人 (事前参加登録要)

主な内容【同時通訳付き】 (予定)

- ・ 基調講演：カナダのエイジテック/ライフサイエンス分野の先行紹介
- ・ パネルディスカッション：カナダと日本のエイジテックにおける課題やアプローチの共有
- ・ ピッチ：カナダのエイジテック・スタートアップ7社
- ・ B2Bネットワーキング：登壇者、イベント参加者による交流会（ケータリング付き）
- ・ B2Bミーティング：スタートアップと関心を持ったイベント参加者（1枠30分）

実績を持つカナダのスタートアップとの連携や
世界のエイジテックのトレンドにご関心のある方は、是非ご参加ください。

イベント申し込み

<https://japanagingtechcta2024.peatix.com/>

お問い合わせ



Asami Karasuda

トレードコミッショナー
(ジャパンCTAリード)
在日カナダ大使館
asami.karasuda@international.gc.ca



Adam Claydon-Platt

ベンチャー責任者
リビング・ベスト
adam@living-best.tech